

補助事業番号 2017M-061
補助事業名 平成29年度公設工業試験研究所等における機械設備拡充補助事業
補助事業者名 東大阪市

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

東大阪市立産業技術支援センターでは、試験・分析機器の整備・充実に努めており、東大阪市内の中小企業が、より効率的に品質管理や研究開発を進め、技術力の強化により製品の高度化が進むよう技術支援を行っています。例えば、試験技術に関する基本知識の少ない若い技術者が機器を利用する場合でも、技術相談員が人材育成も意識しながら機器操作・データの解析について助言し、有効に活用頂いています。しかしながら、基盤的な機器といえども老朽化が進んで故障頻度も増えて試験作業の効率が悪くなり、特に制御機器およびその付随ソフトの陳腐化により現有機器では機能不足、操作性の効率の悪さが目立ってきています。利用者ニーズについても近年多様化しており、そのニーズに対応するため、設置機器の機能の拡大やレベルアップが望まれる状況であることから、試験・分析機器の更新や新規整備が重要な課題となっております。しかし、この機器整備においては本市の財政面から単独での機器調達や整備は難しいため、補助事業を活用させていただき、平成29年度に機器整備を実施しました。

(2) 実施内容

【CNC三次元測定機の導入】

東大阪市立産業技術支援センターでは、工場等で製造・加工した部品の加工精度を評価できる共有の品質管理室的役割として、平成9年の開設時にCNC三次元測定機を設置して、地域の企業が工場等で製造・加工した部品の精度確認や管理等に活用いただけてきました。さらに、本測定機の基本的知識の無い方であっても、測定方法等を助言しながら、様々な機能を使う三次元形状の測定を行っていただいています。平成19年度には、測定機能部分のレベルアップのため、高機能測定素子の導入ならびに制御・解析系のシステムの更新により機能を向上させ、さらなるサービスに努めてきました。これを受けて、技術相談も多種多様化しながら増加してきており、大型品や複雑形状品の測定など、対応の難しい測定への技術相談が増えてきたものの、老朽化による故障頻度が増加して、測定効率も低下してきたため、より大型品でも測定でき、これまでの接触式の測定方式に加えて、ゴムなど変形しやすい部品でも測定できる画像測定機能も加えるなど、機能アップさせたCNC三次元測定機を導入しました。

2 予想される事業実施効果

本測定装置は主に加工製品の寸法や形状を高精度に測定し、加工の仕上がり精度を評価する試験機となっており、中小企業の製造業が集積している東大阪市地域において、導入した機器によって、技術力の向上ならびに製品の高精度化が図れます。さらに、製品トラブルにともなう製品の変形量の測定など、技術的課題の解決のために様々な寸法・形状の評価機能を用いた測定にも活用できます。

以下には本測定装置が可能な機能を示します。

- ① 鋳造品の仕上がり精度の測定（複雑形状品）
- ② マシニングセンターなど複雑切削加工品の加工寸法精度の測定
- ③ プレス加工品の複雑形状の仕上がり寸法精度の測定
- ④ ①②③の製品の熱処理など、後加工による寸法変化・歪の測定
- ⑤ 図面データの無い製品のCADデータの取得
- ⑥ その他、立体形状の寸法測定や、その製品に含まれる様な平面度、面角度、真円度などの形状の評価ができる。

3 本事業により導入した設備

CNC三次元測定機 (<https://techsupport.jp/113.php>)



設置場所：【東大阪市立産業技術支援センター】

本事業に係る印刷物等

該当なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 東大阪市立産業技術支援センター

(ヒガシオオサカシリツサンギョウギジュツシエンセンター)

住所： 〒577-0065

大阪府東大阪市高井田中1-5-3

代表者： 所長 藤田 直也 (フジタ ナオヤ)

担当部署： 技術相談員 (ギジュツソウダンイン)

担当者名： 金子 航三 (カネコ コウゾウ)

電話番号： 06-6785-3325

F A X : 06-6785-3363

E-mail : sangi@techsupport.jp

U R L : <http://techsupport.jp/indexpc.php>